

千葉県病院局中期経営計画
(第3次)
の策定について

千葉県病院局

1. 次期計画の策定方針(案)

2. 病院局の当面する諸問題

3. 各県立病院の課題と対応

1. 次期計画の策定方針(案)

計画期間

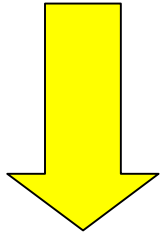
平成24年度から28年度までの**5年間**

計画の見直し

環境変化等に的確に対応していくため、計画期間**3年目**に計画数値等の見直しを行い、現状にあった計画としていく。

策定方針

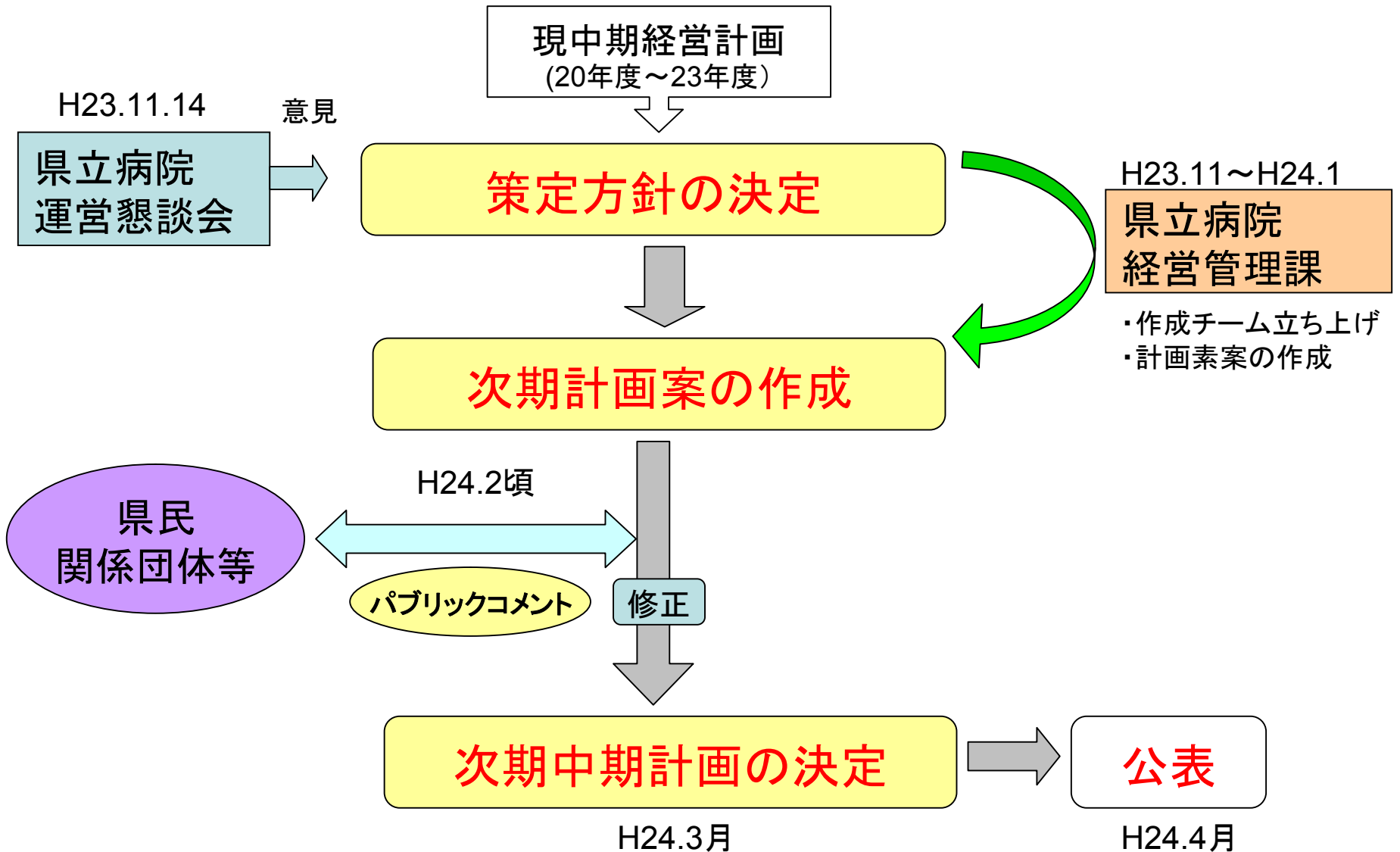
- ① 医療を取り巻く環境変化に対応しつつ、県立病院の果たすべき役割と機能を強化し、**医療の質の向上**を目指す。
- ② 患者の視点に立った**患者サービスの向上**を目指す。
- ③ さらなる**経営基盤の強化**を図るとともに、病院職員の力が最大限に発揮される環境づくりを目指す。



重点事項

- ア. **安定的な黒字の確保**
- イ. **高度専門的医療の推進**
- ウ. **医師・看護師等の確保育成**
- エ. **老朽化した施設の整備**

次期計画 策定スケジュール



2. 病院局の当面する諸問題

○ 黒字確保の継続

現状	H22年度 黒字達成
課題・対応	収益の向上・経費の節減等に努め、一層の経営改善を図る。

○ 先端医療機器の整備

現状	医療機器等の整備予算は、各病院の医業収益の5%以内とするルールが設けられている。
課題・対応	良質な医療の提供を図るため、最新医療機器の整備が不可欠

○ 県立病院情報システムの整備

現状	現行システムは、施設ごとに別メーカーであり、経費、運用管理、システム開発力等に差がある。
課題・対応	県立病院間の医療情報等の共有化により、利便性の向上とともに経費節減を図る。

○ 購買代行を含めたSPD*業者導入の検討

現状	3病院で院内物流に係るSPD業者を導入
課題・対応	一層効率的な診療材料の購入を図るため、購買代行を含めたSPD業者導入の検討を行う。 *SPD 医療消耗品等の院内物流管理システム

○ 地域病院を中心とした医師不足

現状	高度専門医療部門では、医師はほぼ充足
課題・対応	全体的に麻酔科医が不足 地域医療部門で、内科、整形外科、産婦人科、眼科等の診療科の医師が不足

	H16(A)		H20	H21	H22	H23 (B)	(B) - (A)
循環器病センター	51人		51人	48人	51人	48人	△3人
東金病院	23人		12人	13人	14人	14人	△9人
佐原病院	27人		19人	20人	24人	25人	△2人
7 病院計	281人		297人	296人	314人	320人	+39人

※各年度4月1日現在

○ こども病院の周産期医療

周産期棟の増築工事を施工中であり、H24.3に産科の診療を開始する。

今後は、千葉大学附属病院との機能分担・連携を図り、周産期医療に取り組む。

○ 施設の老朽化や耐震不足

- ・救急医療センター及び精神科医療センターの建替え
- ・がんセンター、佐原病院の耐震整備

○ 東金病院の閉院

H26年4月の東金九十九里地域医療センターの開院に伴い東金病院は閉院予定のため、地域における医療の提供に支障が生じないように、病院機能の引継ぎを円滑に行う。

3. 各県立病院の課題と対応

がんセンター

課題

- 臨床試験・治験及び臨床研究の推進
- 低侵襲治療の促進と先進医療の推進
- がん患者のQOLの向上

第3次計画での対応(案)

- 臨床試験・治験及び臨床研究を推進し、難治性がん患者に早期に新規治療の機会を提供する。
- 化学療法及び放射線治療並びにロボット支援手術等を拡充し、より高度な低侵襲治療の促進を図る。
- がん患者のQOLの向上等を図るため、在宅緩和ケア等の充実と支援体制の強化を図る。

救急医療センター

課題

○多様化するリスクおよびニーズへの対応



第3次計画での対応(案)

- 組織横断的活動の強化
(災害対応、リスクマネジメント、NST、ICT)
- 急性期リハビリテーションの充実
- 標準化医療と高度先進医療の調和

精神科医療センター

課題

- 地域・家族のサポート力の低下
- 建物の老朽化、狭隘化
- 外来の待ち時間が長い（H23患者満足度調査）



第3次計画での対応（案）

- 精神障害者アウトリーチ推進事業の強化等により、包括的地域ケアの充実
- 精神科三次救急医療施設の機能を向上させるため、施設整備計画を策定して、計画的に整備を推進する。
- 診療予約システム等の病院情報システムの運用改善

こども病院

課 題

- 周産期センターの安定した稼働の確保
- 手術待ち患者の解消
- 地域医療支援機能の強化
- 施設の改善

第3次計画での対応(案)

- 千葉大学医学部附属病院との連携による、全県対応型周産期医療拠点病院としての役割を担う
- 手術室環境の充実、麻酔医の確保、手術看護師の充足により手術件数の増加を図る
- 二次医療圏の小児医療の実情に応じて、二次救急の補完的役割を拡大
- 施設の長寿化及び病院機能の充実

循環器病センター

課題

- 循環器疾患医療の充実(リハビリ施設の拡充など)
- 医療の質のさらなる向上(より効率的な医療など)
- 経営改善への取組み



第3次計画での対応(案)

- 脳血管疾患リハ等の充実や複数医療圏におけるネットワークづくりなど患者さんの早期社会復帰を進める。
- 組織横断的なチーム医療を推進し、治療効果の向上を図る(「不整脈疾患治療部」の新設など)。
- DPC病院の認定を受け、効率的な病院運営に努める。

東金病院

課題

- 地域ぐるみで糖尿病や慢性腎臓病(CKD)等の重症化を防ぐ
- 平成25年度末の閉院に向けた円滑な機能移転



第3次計画での対応(案)

- 循環型地域医療連携システムを基に、より一層地域の医療機関・行政機関との連携を深める
- 閉院に向けて診療機能を整理するとともに、近隣医療機関や他の県立病院への機能移転について検討していく

佐原病院

課 題

- 医師の不足
(循環器内科・神経内科・小児科・産婦人科・麻酔科等)
- 災害拠点病院として建物耐震強度・非常電源・断水対策の不備
- 救急基幹センターとして全ての救急患者の受け入れが出来ない

第3次計画での対応(案)

- 研修医の教育体制や医師の教育・養成体制を強化し、医師確保に努める
- 本館建物の耐震化等の取組を進める
- 患者サービスの向上、良質な医療サービスの機能アップや経営基盤の確立を行い病院機能強化に努める